

## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月8日  
上場取引所 東

上場会社名 双葉電子工業株式会社  
 コード番号 6986 URL <http://www.futaba.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 和伸  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務管理本部長 (氏名) 中村 正行 TEL 0475-26-0160  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	34,521	6.8	189	—	660	—	452	—
29年3月期第2四半期	32,308	△8.0	△96	—	△1,155	—	△1,835	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,836百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △6,553百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	10.68	—
29年3月期第2四半期	△43.20	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	143,759	126,279	81.3
29年3月期	144,576	127,677	81.7

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 116,923百万円 29年3月期 118,174百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	14.00	—	74.00	88.00
30年3月期	—	14.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	74.00	88.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 平成29年3月期および平成30年3月期(予想)の期末配当金の内訳 普通配当14円 特別配当60円

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	9.1	1,000	—	1,400	—	1,600	—	37.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	43,886,739株	29年3月期	43,886,739株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,466,533株	29年3月期	1,466,349株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	42,420,336株	29年3月期2Q	42,501,556株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率 (%)
売上高	32,308	34,521	6.8
営業利益(△損失)	△96	189	—
経常利益(△損失)	△1,155	660	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益(△損失)	△1,835	452	—
米ドル平均レート	106円/\$	111円/\$	+5円

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、企業業績や雇用・所得環境の改善に支えられ、緩やかな回復基調が続いています。

一方、世界経済は、米国では個人消費や雇用・所得環境の改善による景気回復が継続しており、中国も堅調な個人消費や輸出に支えられた景気の持ち直しが続いています。北朝鮮・中東情勢などの地政学的リスクや米国や欧州の政治動向などについては、留意すべき状況が続いています。

このような状況のなか、当社グループは、電子デバイス関連事業のタッチセンサーや生産器材事業のプレート製品の拡販に注力してきました。

また、平成29年9月にIoT時代の新たなモノづくりを実現するデジタル製造プラットフォームを展開する株式会社カブクを子会社化し、モノづくりにおいて、従来のハードにソフト要素を付加した新たな価値の創出を図っていきます。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は345億2千1百万円(前年同期比6.8%増)となりました。このうち海外売上高は222億8千8百万円(前年同期比8.7%増)となり、国内売上高は122億3千2百万円(前年同期比3.6%増)となりました。

収益面では、営業利益は1億8千9百万円(前年同期は営業損失9千6百万円)、経常利益は6億6千万円(前年同期は経常損失11億5千5百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、4億5千2百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失18億3千5百万円)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えています。

(単位：百万円)

セグメント名称	前第2四半期連結累計期間 外部顧客への売上高	当第2四半期連結累計期間 外部顧客への売上高	増減率 (%)
電子デバイス関連	17,197	18,414	7.1
生産器材	15,110	16,106	6.6
合計	32,308	34,521	6.8

① 電子デバイス関連

(主な製品：蛍光表示管、有機ELディスプレイ、タッチセンサー、複合モジュール、産業用ラジコン機器、ホビー用ラジコン機器等)

<蛍光表示管の売上高の状況>

家電用途は順調でしたが、自動車用途の需要が減少したことにより、売上げは前年同期を下回りました。

＜有機ELディスプレイの売上高の状況＞

通信機用途や映像用途が伸びたものの、自動車向けが減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

＜タッチセンサーの売上高の状況＞

主力の車載用途が計画を上回るペースで拡大し、売上げは前年同期を大幅に上回りました。

＜複合モジュールの売上高の状況＞

家電用途は順調でしたが、POS用途が依然として低迷していることから、売上げは前年同期を下回りました。

＜産業用ラジコン機器の売上高の状況＞

FA向けが低迷したものの、トラッククレーン向けや農業関連向けが堅調に推移したことから、売上げは前年同期を上回りました。

＜ホビー用ラジコン機器の売上高の状況＞

大手パートワーク（分冊百科）販売会社向けコマンド方式サーボの売上げが大きく伸長し、売上げは前年同期を上回りました。

② 生産器材

(主な製品：プレート製品、金型用器材、成形合理化機器)

＜国内売上高の状況＞

プレス金型用器材は引き続き低迷しましたが、プレート製品および成形合理化機器が伸びたことから、売上げは前年同期をやや上回りました。

＜海外売上高の状況＞

主力の韓国市場において、スマートフォン向けは依然として低迷していますが、自動車向けは堅調に推移し、売上げは前年同期をやや上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少や建設仮勘定の減少などにより、前連結会計年度末に比べ8億1千6百万円減少し1,437億5千9百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金や繰延税金負債の増加などにより、前連結会計年度末に比べ5億8千1百万円増加し174億8千万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ13億9千8百万円減少し1,262億7千9百万円となりました。この結果、自己資本比率は81.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成29年5月12日に公表しました連結業績予想を修正しています。

詳細につきましては、本日(平成29年11月8日)公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	56,865	49,991
受取手形及び売掛金	17,358	18,993
有価証券	123	—
商品及び製品	3,815	4,146
仕掛品	2,642	2,717
原材料及び貯蔵品	6,683	7,446
その他	1,256	1,489
貸倒引当金	△394	△433
流動資産合計	88,352	84,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,179	13,249
機械装置及び運搬具(純額)	8,862	9,340
工具、器具及び備品(純額)	744	1,119
土地	17,433	17,830
リース資産(純額)	100	81
建設仮勘定	1,787	716
有形固定資産合計	42,107	42,338
無形固定資産		
のれん	—	1,412
その他	984	890
無形固定資産合計	984	2,302
投資その他の資産		
投資有価証券	11,808	13,346
その他	1,615	1,844
貸倒引当金	△291	△423
投資その他の資産合計	13,132	14,767
固定資産合計	56,224	59,408
資産合計	144,576	143,759

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,968	4,539
電子記録債務	1,558	1,826
未払費用	3,424	2,620
未払法人税等	509	474
賞与引当金	874	890
その他	1,745	1,782
流動負債合計	12,081	12,134
固定負債		
長期借入金	—	247
繰延税金負債	1,086	1,464
役員退職慰労引当金	116	126
退職給付に係る負債	3,380	3,248
その他	233	259
固定負債合計	4,816	5,346
負債合計	16,898	17,480
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,558	22,558
資本剰余金	21,594	21,594
利益剰余金	78,526	75,913
自己株式	△2,733	△2,733
株主資本合計	119,945	117,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,654	2,322
為替換算調整勘定	△2,414	△2,106
退職給付に係る調整累計額	△1,011	△624
その他の包括利益累計額合計	△1,771	△409
非支配株主持分	9,503	9,355
純資産合計	127,677	126,279
負債純資産合計	144,576	143,759

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	32,308	34,521
売上原価	25,972	27,576
売上総利益	6,335	6,944
販売費及び一般管理費	6,432	6,755
営業利益又は営業損失(△)	△96	189
営業外収益		
受取利息	112	149
受取配当金	127	120
為替差益	—	155
その他	75	116
営業外収益合計	315	542
営業外費用		
為替差損	1,285	—
固定資産解体撤去費用	13	10
その他	76	60
営業外費用合計	1,375	71
経常利益又は経常損失(△)	△1,155	660
特別利益		
固定資産売却益	7	290
特別利益合計	7	290
特別損失		
固定資産売却損	8	2
固定資産廃棄損	13	4
投資有価証券評価損	94	—
減損損失	3	8
災害による損失	12	—
特別退職金	64	—
特別損失合計	196	15
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,344	935
法人税、住民税及び事業税	342	380
法人税等調整額	40	△14
法人税等合計	382	365
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,727	569
非支配株主に帰属する四半期純利益	108	116
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,835	452

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,727	569
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△309	667
為替換算調整勘定	△4,947	207
退職給付に係る調整額	430	390
その他の包括利益合計	△4,826	1,266
四半期包括利益	△6,553	1,836
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,921	1,809
非支配株主に係る四半期包括利益	△632	26

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,344	935
減価償却費	1,574	1,683
減損損失	3	8
貸倒引当金の増減額(△は減少)	99	96
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△142	△171
賞与引当金の増減額(△は減少)	29	9
受取利息及び受取配当金	△240	△270
為替差損益(△は益)	669	△36
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	14	△283
投資有価証券評価損益(△は益)	94	—
災害による損失	12	—
特別退職金	64	—
固定資産解体撤去費用	13	10
売上債権の増減額(△は増加)	714	△1,249
たな卸資産の増減額(△は増加)	510	△1,030
仕入債務の増減額(△は減少)	618	314
その他	323	323
小計	3,012	339
利息及び配当金の受取額	227	259
利息の支払額	△0	△1
事業再編損による支払額	—	△540
法人税等の支払額	△357	△361
法人税等の還付額	30	4
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,911	△299
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△20,344	△8,182
定期預金の払戻による収入	18,137	10,935
有価証券の売却及び償還による収入	42	122
有形固定資産の取得による支出	△2,519	△1,651
有形固定資産の売却による収入	353	262
投資有価証券の取得による支出	△600	△600
投資有価証券の売却及び償還による収入	702	2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△675
貸付けによる支出	△2	△1,002
貸付金の回収による収入	8	7
その他	△66	△218
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,289	△1,001

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△18	△17
自己株式の取得による支出	△652	△0
配当金の支払額	△599	△3,139
非支配株主への配当金の支払額	△160	△175
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,430	△3,332
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,527	282
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,335	△4,350
現金及び現金同等物の期首残高	35,463	41,841
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	291	181
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,420	37,671

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子デバイス 関連	生産器材	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,197	15,110	32,308	—	32,308
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	0	2	△2	—
計	17,200	15,110	32,311	△2	32,308
セグメント利益又は 損失(△)	△511	415	△96	△0	△96

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子デバイス 関連	生産器材	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,414	16,106	34,521	—	34,521
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	0	3	△3	—
計	18,418	16,106	34,525	△3	34,521
セグメント利益又は 損失(△)	△390	579	188	0	189

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、技術および営業部門の統合によるシナジー効果や新たな融合商品の創出を行うことを目的とした会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「電子部品」、「電子機器」および「生産器材」の3区分から、「電子デバイス関連」、「生産器材」の2区分に変更しています。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき開示しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報  
(のれんの金額の重要な変動)

「生産器材」セグメントにおいて、株式会社カブクおよび株式会社原振精工の株式を取得したことにより、のれんを計上しています。当該事象によるのれんの発生額は、当第2四半期連結累計期間においては1,412百万円(株式会社カブク：1,354百万円、株式会社原振精工：57百万円)です。なお、株式会社カブクに関しては、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。